

新技術を活用した光警報装置の設置費用について

これまで光警報装置の光源の種類はキセノンタイプのものが主流であったが、最近開発されたLEDタイプのものを用いることにより、省エネ化が可能となる。また、光警報装置の消費電力の低下に伴い制御盤の必要台数も減少し、結果として全体の設置費用の削減が可能となる。(昨年度に検証実験を実施したモデル施設の一部を対象に再見積を実施したところ、約20%～約55%減少した。)

キセノンタイプ



光警報装置設置面積1㎡あたりの工事単価(参考値であるがモデル施設での平均3,000円)

例えば、延べ面積3000㎡の施設に光警報装置を設置すると、単純計算で...

$3,000円 \times 3,000㎡ = 900万円$ となる。

(第5回検討部会資料より)



LEDタイプ



+

制御盤の
必要台数
の減少



約20%～約55%の工事費用が
削減されることにより

約405万円～約720万円となる。

(参考) モデル施設における再見積価格

① A施設

	モデル事業実績費	再見積価格	備 考
合 計	¥ 7, 589, 000	¥ 6, 124, 000	約20%減

●光警報装置設置個数: 52個⇒62個

●制御装置設置台数: 5台⇒2台

② B施設

	モデル事業実績費	再見積価格	備 考
合 計	¥ 6, 642, 000	¥ 4, 649, 000	約30%減

●光警報装置設置個数: 51個⇒56個

●制御装置設置台数: 4台⇒1台

③ C施設

	モデル事業実績費	再見積価格	備 考
合 計	¥ 9, 360, 000	¥ 7, 330, 000	約20%減

●光警報装置設置個数: 41個⇒68個

●制御装置設置台数: 3台⇒2台

④ D施設

	モデル事業実績費	再見積価格	備 考
合 計	¥ 6, 960, 000	¥ 3, 190, 000	約55%減

●光警報装置設置個数: 34個⇒47個

●制御装置設置台数: 5台⇒1台